

ボランティア活動を通して 世代を超えた輪広げたい

一関世代にかける橋(B.R.G)



地域で頑張って活動しているグループなどを紹介していきます。

竹馬、缶げた、輪回し、こま。今ではなかなか体験できなくなった昔遊びに興じる約200人の子どもたち。そして、子どもたちに遊び方を教えながら優しく見守る約40人のボランティア。

5月13日、磐井川河川公園で行われた第39回「子どもの森」その運営に当たったのが、ボランティアサークル「一関世代にかける橋」の皆さんです。

青年たちが中心となり、世代を超えて子どもや障害のある人たちなどとの交流支援を行う「一関世代にかける橋」は、昭和40年に設立されました。現在は高校生から40歳代の社会人まで約30人の会員が、毎週1回の例会を基本に、「子どもの森」や秋のハロウィンパーティーなどの

イベント開催のほか、障害者との交流や障害者乗馬のサイドヘルパー、災害救護学習など幅広い活動を行っています。

長年の活動が認められて、平成14年にはボランティア功労厚生労働大臣賞を受賞しました。

平成4年に入会し、12年から代表を務めている橋本真由美さん、中里さんも、小・中学生時代からボランティア活動にかかわってきた一人です。

「ボランティア活動は特別なことではありません。会員も皆、学業や仕事と両立しながらやっています。何よりも仲間が増えることが楽しいですね。進学などで一関を離れても、戻ったときに『ただいま』と来てもらえるような場になれば」と語る橋本

さん。「子どもの森」の準備が大詰めを迎えた5月1日には2人の実行委員OBが顔を見せ、年齢もさまざまな会員たちは歓声を上げて再会を喜び合いました。場は一気に同窓会のような雰囲気にも一層熱がこもっていました。

「会の幅広い活動を通して、若い人にいろいろな経験をしてもらい、自分の世界、そして人の輪を広げてほしい」。柔らかい語り口の中にじみ出る、橋本さんのボランティア活動への熱い思いは、設立以来40年以上にわたって受け継がれてきた、そして現在の会員一人一人の胸に刻まれている願いでもあります。

「子どもの森」で「昔の遊びは難しいけれど、とても楽しい」と息を弾ませた小学生。子どもたちの喜んでいる姿を見るのがうれしかった」と満足そうな高校生ボランティア。そして「来年も



小崎蓮ちゃん(大東)

17年12月24日生まれ
パパ志向さん/ママ真知子さん
「外遊びが大好きなやんちゃ坊主です!!これから元気になってね!!」



高橋優奈ちゃん(左)

14年10月29日生まれ

高橋美咲ちゃん(一関)

15年11月9日生まれ

パパ茂紀さん/ママ麻衣さん
「春から幼稚園に通っています。いっぱいお友達をつくってね!!」

高橋帆乃伽ちゃん(右・東山)

17年12月10日生まれ
パパ宏一さん/ママ涼子さん
「いつもこはくお姉ちゃんと仲良し。素直でやさしく育ってね!!」



キッズ写真館

1歳から4歳ぐらいまでの子どもたちを募集!

- ①写真(2カ月以内に撮影したもの・データ可)
- ②氏名(ふりがな)
- ③生年月日
- ④住所
- ⑤父母氏名
- ⑥30字程度でお子さんへのメッセージ

を明記して市役所秘書広報課 〒021-8501(住所不要)まで。(毎月先着3人)